

キャンプ指導を経験した大学生の主体性に関する研究
 田邊 滉大 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)
 指導教員 林 綾子

キーワード：大学生，キャンプ指導，主体性

1. 緒言

近年では、企業が学生に対し「主体性」、「粘り強さ」、「コミュニケーション能力」といった「社会人基礎力」の類する内面的な能力要素の不足を指摘している。筆者は、大学生から社会人になるまでの間に「社会人基礎力」の中の特に主体性を身につける必要があると考えた。青木ら¹⁾は、キャンプ体験が主体性に効果があると述べており、田島²⁾は、役割などの要因が主体性に関係があると述べている。そこで本研究は、キャンプ指導を経験した大学生の主体性変容を明らかにするとともに、主体性に関する要因の影響を明らかにすることを目的とした。

2. 研究方法

【調査対象】2016年4月5日~8日(A日程)、8日~11日(B日程)にB大学で行われたフレッシュマンキャンプにスタッフとして参加したB大学野外スポーツコースの3,4回生65名を対象とした。

【調査方法】浅海³⁾が作成した「主体性尺度」3因子16項目キャンプ指導用に修正を加え、キャンプ指導前後に使用した。さらに、毎日のふりかえりシートとして田島²⁾の「社会的定位不全尺度」「成員間の議論」「親密度」「工夫・裁量」についての質問項目をキャンプ指導用に修正し、また自由記述として3項目加えた。これらをキャンプ期間中の毎晩ミーティング後、計8回実施した。

3. 結果と考察

1)主体性及び主体性下位因子別の変容

主体性及び因子別の得点をキャンプ前後でt検定による比較を行った結果、A日程前後にのみ有意な変化が見られた(表1)。因子別では、自己信頼性とコミットメントが有意に向上した。B日程前後では、主体性及び因子別には有意な差はみられなかった。

表1 A日程の主体性および因子別得点の平均値と標準偏差、t検定の結果

N=51	Pre	Post	T値	
	M(SD)			
主体性	50.22(5.81)	51.45(5.13)	-1.78	†
自己信頼性	24.10(4.02)	25.65(4.05)	-3.29	**
自己完遂性	14.43(2.49)	14.80(2.12)	-1.22	n.s.
コミットメントの類々	14.49(3.47)	11.00(2.07)	8.76	**
				†<.05 **<.01

このことから、A日程のキャンプ指導前は、初めてのキャンプ指導を行う人が多く、不安要素がたくさんあり、自分の行動に自信が持てず、積極的な行動が少なかったが、キャンプを通して、キ

ャンパーや他のスタッフとの関わりの中で、スタッフとしての責任感や意識が高まり、積極的な行動を多くとるようになり、主体性全体や因子である自己信頼性、コミットメントの向上に繋がったと考えられる。B日程では、ほとんどの学生がA日程の続きからの指導だったため、B日程前の得点がすでに高かったことからB日程後に有意に向上しなかったと考えられる。

2)主体性向上に与える影響

主体性向上に関係すると思われる5つの要因の変容に関して、主体性に向上が見られたA日程のみで分析を行った。その結果、有意な向上が親密度($d(3,150)=8.84, p<.001$)、工夫・裁量($d(3,150)=13.05, p<.001$)、役割($d(3,150)=2.43, p<.05$)に見られた。さらに、重回帰分析による主体性向上に影響を与える要因の分析を行った。分析結果によると、役割理解が主体性向上に正の影響を与えることが明らかになった($\beta=.359, p<.01$)。因子別では、役割理解が自己完遂性向上に正の影響を与え($\beta=.342, p<.01$)、親密度と役割理解がコミットメント向上に正の影響を与える事が明らかとなった($\beta=.353, p<.01, \beta=.264, p<.01$)。

これらの結果から、役割をより明確に理解することが、キャンプ指導での主体性向上に有効であることが分かる。また、スタッフ間の親密度をより深めることにより、役割と同様にキャンプ指導へのコミットメントが高まり、主体性向上に繋がる。つまり、キャンプ中のスタッフミーティングの場など活用し、役割の理解を確認したり、同じ目的を持って、指導にあたるスタッフ間の親密度を深める機会を設けるなどの工夫が効果的ではないかと思われる。

4. まとめ

大学生のキャンプ指導経験は、主体性向上に効果があることが明らかとなった。また、指導において、その役割の明確な理解やスタッフ間の親密度をより高めることがより主体性に向上に効果的であることが明らかとなった。

引用文献

- 1) 青木康大朗・粥川道子・杉岡品子(2012) キャンプ体験が大学生の社会人基礎力の育成に及ぼす効果に関する研究。北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要,3:27-39.
- 2) 田島司(2010)大学生のアルバイトにおける役割形成の経験が主体性の自覚と自己の社会的定位の与える影響。北九州市立大学部紀要(人間関係学科), 18:29-34.
- 3) 浅見健一郎(1999)子どもの「主体性尺度」の試み。人間性心理学研究,17(2):154-163.